

(法第 28 条第 1 項関係様式)

3
令和 3 年度事業報告書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 熱と光

1 事業の成果

コロナ渦中、予定していた講座などの中止もありましたが、全体的に多くの方に参加をして頂くことができました。ディサービス業務は、感染対策・予防をしながら前年同様、高齢者のサークルや介護の見守り支援、独居者の居場所作りとしての場を設けることで、引きこもりでいた数名が、参加してくれるようになりました。子育て支援業務は、子育て中の方の相談も増えました。社会教育指導業務と教育支援業務では、幼児から高校生まで幅広い年齢層での学習会や合宿などの参加がありました。

講座教室企画業務は、予定回数は減りましたが皆さん笑顔で参加してもらえました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
介護予防・生活支援に係るディサービス事業	ディサービス・健康福祉推進業務	令和 3 年 4 月～ 令和 4 年 3 月	橋岡会館 他	1 人	草津市、市外 5,267 人	2,031
人権教育・啓発推進事業	社会教育指導業務	同上	同上	2 人	草津市 1,465 人	4,397
就労推進事業	就労支援業務	同上	同上	1 人	草津市 507 人	1,735
子ども輝きふれあい事業	子育て支援業務	同上	同上	1 人	草津市 217 人	1,954

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
子ども輝 きふれあ い事業	教育支援業務	令和 3年 4月～ 令和 4年 3月	橋岡会 館 他	3人	草津市 1,627人	3,936
地域交流 促進事業	講座教室企画運営業務	同上	橋岡会 館 他	1人	草津市、市外 5,010人	3,780
本館の目 的を達成 するため に必要な 事業	・橋岡会館の維持管理業務	同上	橋岡会 館	1人	草津市	3,207
	・橋岡会館の清掃管理業務			1人		1,825

22865

様式（法第28条第1項）

3 年度 活動計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 熱と光
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 事業収益		
受取委託業務費	36,315,236	36,315,236
2. その他収益		
受取利息	115	
雑収益	2,063,040	2,063,155
経常収益計		38,378,391
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	11,756,170	
法定福利費	1,157,279	
福利厚生費	392,570	
人件費計		13,306,019
(2) その他経費		
交際費	171,202	
旅費交通費	984,400	
保守費	183,150	
諸謝金	1,803,970	
通信費	234,437	
研修費	2,310,000	
消耗品費	1,128,711	
水道光熱費	1,131,056	
修繕費	309,189	
その他経費	1,307,388	
その他経費計		9,563,503
事業費計		22,869,522
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	11,756,170	
法定福利費	1,157,278	
福利厚生費	60,010	
人件費計		12,973,458
(2) その他経費		
通信費	72,641	
保守費	130,350	
賃借料	92,664	
図書費	40,800	
支払手数料	7,370	
事務費	1,100,000	
水道光熱費	1,131,056	
その他経費	30,690	
その他経費計		2,605,571
管理費計		15,579,029
経常費用計		38,448,551
当期経常増減額		-70,160
III 経常外収益		
過年度損益修正益	969,800	969,800
経常外収益計		969,800
IV 経常外費用		
過年度損益修正損		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		899,640
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		899,640
前期繰越正味財産額		3,705,595
次期繰越正味財産額		4,605,235

3 年度 貸借対照表
4 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 熱と光
(単位：円)

科目		金額		
I	資産の部			
	1. 流動資産			
	現金預金	4,735,076		
	前払費用	76,200		
	流動資産合計		4,811,276	
	2. 固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	有形固定資産計		0	
	(2) 無形固定資産			
	無形固定資産計		0	
(3) 投資その他の資産				
投資その他の資産計		0		
固定資産合計		0		
資産合計			4,811,276	
II	負債の部			
	1. 流動負債			
	預り金	206,041		
	流動負債合計		206,041	
	2. 固定負債			
固定負債合計		0		
負債合計			206,041	
III	正味財産の部			
	前期繰越正味財産		3,705,595	
	当期正味財産増減額		899,640	
	正味財産合計			4,605,235
負債及び正味財産合計			4,811,276	

3年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 熱と光

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日 によつています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- (3) 引当金の計上基準
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
- (6) 消費税等の会計処理

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	事業	事業	事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費							
2. 受取寄附金							
3. 受取助成金等							
4. 事業収益							
5. その他収益							
経常収益計							
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当							
退職給付費用							
福利厚生費							
.....							
人件費計							
(2) その他経費							
会議費							
旅費交通費							
施設等評価費用							
減価償却費							
印刷製本費							
.....							
その他経費計							
経常費用計							
当期経常増減額							

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳
 用途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
 当法人の正味財産は 円ですが、そのうち 円は、下記のように用途が特定されています。
 したがって用途が制約されていない正味財産は 円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計					

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具						
什器備品						
.....						
無形固定資産						
.....						
投資その他の資産						
敷金						
.....						
合計						

6. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容
 役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計		
(貸借対照表)		
貸借対照表計		

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法

給料手当及び法定福利費については、従事割合に基づき按分しています。

- ・ その他の事業に係る資産の状況

(法第28条第1項)

3年度 財産目録
4年 3月31日現在

特定非営利活動法人 熱と光
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	943,422	
J Aバンク普通預金	3,791,654	
前払費用	76,200	
流動資産合計		4,811,276
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		4,811,276
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金		
源泉所得税預り金	106,666	
翌期返還分	99,375	
未払消費税		
流動負債合計		206,041
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		206,041
正味財産		4,605,235